



令和4年度 学校評価アンケートの結果について

春暖の候、保護者の皆様におかれましては、益々ご清祥のことと存じます。日頃から本校教育活動へのご理解、ご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、保護者の皆様にはご多用のところ本校教育活動についてのアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。この程、結果がまとまりましたのでお知らせいたします。今年度は昨年度と同じ項目で実施しましたので、比較できるようにまとめました。

学校ではこの結果をもとに、次年度に向けて改善を図ってまいります。今後とも保護者の皆様のご協力の程、よろしく願いいたします。

学校ホームページにも集計結果（保護者、児童、教職員）をグラフにしたものを掲載してありますので、併せてご覧ください。

【全体的な傾向】

全体的に「おおむね良い」傾向にあり、昨年度より「よくできている」「大体できている」の合計数値は上がっています。

【教育活動】

「教育活動の見直し」については、「よくできている」の数値は上がっていますが、「あまりできていない」の数値も同様に上がっています。今年度の活動を振り返り、その反省のもと、より良い方向に改善できるよう努めてまいります。

【学習面】

全体的に昨年度よりプラスの評価となっております。児童の自ら学ぼうとする学習意欲を維持しながら、学力向上に引き続き努めていきます。今後も感染症拡大防止策を講じながらも、できることを模索しながら、学習活動を進めてまいります。

【生活面】

こちらも全体的に昨年度よりプラスの評価となっております。児童が安心して過ごせるいじめのない学校、充実した学校生活を送れるよう、児童が教師や友達とかわり合うことができる学校づくりに引き続き努めていきます。そのために、児童がより相談しやすい教育相談体制づくりには力を入れなければなりません。

【安全・環境面】

この項目については昨年度より若干マイナスの評価となっております。ここ2・3年は、特に感染症対策に力を入れてきましたが、安全教育全般について再度見直す必要があります。また、環境面でも、日頃の安全点検を中心に、安全な学校づくりに努めていきます。

【学校・家庭・地域連携】

昨年度と同等、または若干プラスの数値となっております。コロナ規制の緩和が進んだことにより、昨年度よりも保護者の学校教育活動へのかかわりを増やすことができました。児童の健全な成長のために、学校・家庭・地域が引き続き連携していけるよう努めてまいります。